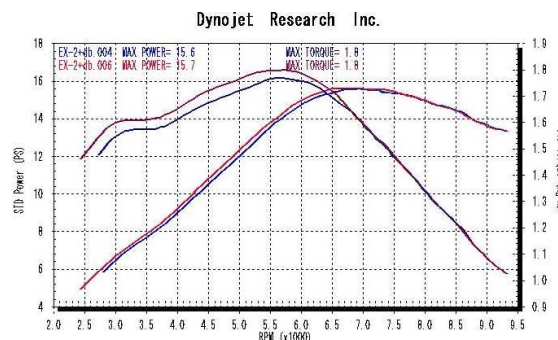


取付け説明書



画像A

構成部品について

1、dBsトルクブースター; 1SET

取り付けについて

- EX-2ブッシュマスターエキパイを車体から取り外します。
固くて取り難い場合はサイレンサーを先に、はずします。
- dBsトルクブースターをマウスピースに差し込んだ状態(画像A)でマウスピースをエンジン排気ポートにノーマルボルト、ナットで取り付けます。
排気ポートの2個のナットは左右均等に徐々に締めます。
- ボルト、ナット類は仮組しておき、最後に締め付けます。
締付トルクはヤマハサービスマニュアルを参照して下さい。
- エンジン始動前にエキパイに付いた油分や指紋を脱脂クリーナーで落します。
- テスト走行後、各ボルト、ナットの緩みを確認し必要な場合は増し締めします。

【より安全にご使用していただくために、必ずお読みください。】

- ご使用の前に必ずお読みください。取扱説明書は、製品を破棄されるまでお手元に保管してください。
- 取扱説明書に反した使用により損害が生じた場合、当社は賠償の責を負いません。
- 製品についてお気づきの点は、事前にご連絡ください。
- 重要保安部品の取扱いは、プロのメカニックにより認証工場などで行ってください。

警告

- 当社指定車種・部品以外の取り付け、装着は行わないでください。取り付けに不具合が生じ、製品の特性を損ないます。
- 製品を分解、改造しないでください。製品の機能が損なわれ、故障等の原因となります。
- 火傷等を未然に防ぐ為、作業はエンジンが完全に冷えた状態で行ってください。
- 作業時でのオートバイの転倒による怪我を防ぐ為、水平な場所で車体を安定させてから作業を行ってください。
- パイプ等のエッジ部分は肉厚が薄い為、手などを切ったりすることがないように、軍手を装着し、注意して作業を行ってください。
- キャブレターやエンジンを車両の諸元と変更されている場合は、各部のセッティングを行っていただく必要があります。
- 取り付け前に必ず車種専用サービスマニュアルを用意して作業を行ってください。
- 取り付け後、必ず各部の干渉などの問題がないこと、ボルト、ナットの締め忘れがないよう確認してください。
- 取り付け後、走行距離100km到達時で一度ボルト、ナットの緩みがないか点検し、必要があれば増し締めを行ってください。
- レース専用パーツに関しては、装着後のクレーム、及び故障、事故について当社は一切の保証、責任を負いません。
- 組み付け不良、メンテナンス不良、又は使用状況の誤りにより発生した事故、破損、及び取り付け工賃に関して、当社は一切の保証、責任を負いません。
- 当社指定車種・部品以外の取り付け、装着により発生した事故、破損、及び取り付け工賃に関して、当社は一切の保証、責任を負いません。

注意

- エンジン始動中、及び停止後しばらくの間は、マフラーは高温になっています。触れられますと火傷等の負傷を負う恐れがありますので、絶対に動物や人が触れない場所を選び保管管理してください。
- エンジン始動中、及び始動後しばらくの間は、マフラーは高温になっています。火災の原因となる為、絶対近くにガソリン等の危険物や燃えやすい布などは置かないでください。
- エンジンを始動させる場合は、換気のよい場所で行ってください。排気ガスにより、一酸化中毒になる恐れがあります。
- 各ボルト、ナットはサービスマニュアルに従い、指定トルクを厳守し、締め付けを行ってください。ボルト、ナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
- 構造上、最低地上高が低くなる場合があります。転倒による死亡事故を防ぐ為、マフラーを接地させる無難な運転操作や投差等でマフラーを接地しないようにしてください。
- お客様による分解や修理・改造は危険ですので行わないでください。修理の際はお客様への販売店又は当社にご連絡ください。
- レース専用パーツに関しては、一般公道では使用しないでください。
- 車両の点検、及びメンテナンスは定期的にお客様の責任において行ってください。

(有)ディービーコーポレーション
<http://dbc corp.jp/>